

みどりの翼

特集 グルメ

嬉しい時も、悲しい時も、
いつだって腹は減るのだ。

2020年7月 Vol. 71



なのビィ



発行：田原市中央図書館
(TEL：0531-23-4946)

全メニュー値段つき。カロリーはあえて載せないのかな…（^レ^；）

「コンビニかけ合わせグルメ」

ディスク百合おん／著 スモール出版 2017年 596/頁 ラインズ



その名の通り、コンビニで売っている商品をかけ合わせて豪華に食べるレシピ（？）本です。お惣菜だけかと思ったら、冷凍食品やパン・缶詰なども使っています。読んでみて驚いたのは、かけ合わせのアイデア以前に、そんな商品あるの！？ってところ。冷凍グリン野菜とか、知ってました？週に1回は行ってるのに、全然見てない棚があるものですね。コンビニを見る目がちょっと変わりそうです。

オードブルからデザートまで、フルコースで召し上がれ。

「ホントに食べる？ 世界をすくう虫のすべて」

内山昭一／監修 文研出版 2020年 383/頁 児童



温暖化や人口増加の切り札として、昆虫食が注目されていることを知っていますか？某無印の店で発売されたコオロギせんべいも話題ですが、他にも食べられる虫がたくさんいることにびっくり。ちなみにマニアおすすめNO.1は、これからが旬のセミ！アブラゼミは、揚げるとナッツの香りがするそうですよ…。勇気と家族の理解がある人は挑戦してみる？

人は「ゼロ」から何も生み出せない。だから「一」から作る。

「関野吉晴ゼミ カレーライスを一から作る」

前田亜紀／著 ポプラ社 2017年 916/頁 児童



武蔵野美術大学で文化人類学を教える関野吉晴さんのもとで、カレー作りが始まります。食材や調味料、器までも「一から」作るのです。野菜や調味料は畑で、お米は田んぼで化学肥料を使わずに育て、肉もひなから育てます。

最初は150人ほどいた参加者ですが、地道な世話が續くからか、だんだん数が減っていきます。更に、食材にするための鳥について、殺すことに反対の声が出始めました。

高校生だからって、甘くしてはもらえない

「満点レシピ」

須藤靖貴／著 新潮社 2018年 913.6/ｽﾄ ﾀｰﾝｽ



高校卒業とともに調理師免許が取得できる食物調理科（通称ショクチョウ）は、「調理に関しては100点満点を目指す超完璧主義」がモットー。満点を目指しクラス30人を合わせて調理に臨むけれども、失敗ばかりでなかなかうまくいかない。何度も試作を繰り返し、挑む3年生最後のイベント「卒業制作展」。果たして満点を取ることはできるのか？！

行ってみたい！食べてみたい！

「高校生レストランまごの店 おいしい和食のキホン」

村林新吾・相可高校調理クラブ／著 岩波書店 2015年 596/ﾎﾞ ﾀｰﾝｽ



三重県多気町にある高校生レストラン「まごの店」は相可高校調理クラブの生徒が運営する和食の店です。

生徒たちは昔から伝わる料理の基本を学び、心をこめてていねいに料理を作ることを大切にしています。

「まごの店」の1番基本としているだしの取り方から食材の下ごしらえ、包丁の使い方など、私たちが今すぐに取り入れられる料理の基本がつまった1冊です。

見よ、この美しい断面を…！！！！

「果実とパンの組み立て方」

ナガタユイ／著 誠文堂新光社 2020年 596.63/1 一般



趣味でいちごサンドをよく作るのですが、きれいな断面に仕上がったためしがないのです…。この本は私にとってたいへんありがたい参考資料になりました。写真が豊富なので、果物をこう並べれば断面はこうなる！というイメージがしやすかったです。今度はカスタードクリーム入りで挑戦してみようかな。季節の果物を使えば、一年中フルーツサンドが楽しめますね。

中央図書館では、その他のオススメ本も展示しているので見にきてね☆

☆新着図書・この本読んで！☆

脳内実写化の参考資料にどうぞ

「異世界に一番近い場所」

清水大輔／著 パイインターナショナル 2019年 748p/ ¥1,700



物語を読むとき、目では活字を追いながら脳内では映像が流れている、というあなた。ファンタジー小説などの非日常の風景が上手く描けなくて止まってしまうことはありませんか？そんなときに想像力を補ってくれるのがこのような写真集です。物語の舞台が、鮮明かつ奥行きを持って想像できるようになりますよ。それにしても、野草の生い茂る廃墟って不思議な魅力ですね。

便利だけど見直しも必要

「海のプラスチックごみ調べ大事典」

保坂直紀／著 旬報社 2020年 519p/ ¥1,500



私たちの生活の中で当たり前にあるプラスチック製品。便利で良い面もあるけれど、そのプラスチックが大量のゴミとなって海岸を汚し、海に住む生物を苦しめています。

そして私たち自身も気がつかないうちに小さなプラスチックを排出しているのです。身近なものだからこそ、プラスチックごみを増やさないために自分自身ができることは何か。改めて考えてみませんか？

想像を超える存在・宇宙に、私たちも存在している。

「ニュートン式超図解 最強に面白い！！ 宇宙」

佐藤勝彦／監修 ニュートンプレス 2020年 440p/ ¥1,500



宇宙が誕生した時は原子よりも小さかったけれど、ずっと膨張を続けていて、どこまで広がっているのかわからない。日常の常識とかけ離れた宇宙について、この本は「最強に面白く」案内をしてくれます。

研究者の意外で冗談みたいな裏話マンガも載っていて、複数の見方から楽しめる本です。

予告：次号の特集は「極める」です。お楽しみに♪